

令和2年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業

ZEBリーディング・オーナー登録公募要領

2020年4月

あなたのZEBの取組みを日本の先進的事例に。

ZEBの実現・普及は、我が国のエネルギー需給の抜本的改善の切り札となる等、極めて社会的便益が高いものであり、2015年4月に「ZEBロードマップ検討委員会」が設置され、同委員会のとりまとめの一部として、同年12月に「ZEB実現・普及に向けたロードマップ」が公表されました。

これを受け、2016年7月には、当該ロードマップのフォローアップを行うとともに、ロードマップに位置付けられている設計ガイドライン策定を目的として、「ZEBロードマップフォローアップ委員会」が設置されました。

2019年3月に公表された「平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ」において、「規模が大きいことによる技術的課題」「複数用途建築物に関する課題」があげられました。

2020年及び2030年の政策目標の実現に向けては、設計会社、設計施工会社、コンサルティング企業等のZEBのプランニングを行う実務者と、建物オーナーの両者が、それぞれにZEBの実現・普及に関する目標設定を行い、進捗管理を行っていくことが重要です。

昨年度に引き続き「ZEBリーディング・オーナー登録制度」では、ZEB Oriented以上の性能を有する建築物を所有、もしくは計画を有している建物オーナーを優良事業者として登録し、広く公表します。

ZEB Oriented以上の性能を有する建築物普及を担う建物オーナーを「ZEBリーディング・オーナー」として登録し、その取組みを我が国の先進的事例として広く公表することで、他の企業のZEB Oriented以上の性能を有する建築計画への意欲促進につながることを目指します。

- ZEBロードマップ検討委員会 とりまとめ

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9766998/www.meti.go.jp/press/2015/12/20151217002/20151217002-1.pdf>

- 「ZEBロードマップとりまとめ」概要

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeb_report/pdf/report_160212_ja.pdf

- ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ(2018年5月公表)

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/1805_followup_summary.pdf

- 平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ(2019年3月公表)

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/1903_followup_summary.pdf

- 令和元年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ(2020年4月公表)

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/2004_followup_summary.pdf

- 設計実務者向けZEB設計ガイドライン、ビルオーナーなど事業者向けパンフレット公開ページ

https://sii.or.jp/zeb/zeb_guideline.html

ZEBリーディング・オーナー登録申請者は、虚偽の内容を含む申請をしてはなりません。

誠実且つ的確な申請をしてください。

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

令和2年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)は、環境省が実施する令和2年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業(業務用施設等におけるZEB化・省CO2促進事業))」(以下「環境省ZEB事業」という)との連携事業です。

以下に示される建築物は、環境省ZEB事業の補助対象事業であるため、環境省ZEB事業の執行団体において「ZEBリーディング・オーナー登録」を行います。

・地方公共団体(以下「地公体」という)の建築物(地方独立行政法人、公営企業含む)

■ZEBリーディング・オーナー一覧をSIIのホームページで公表しています。

以下、URLよりご覧ください。

- ZEBリーディング・オーナー一覧 | オーナー名で検索
https://sii.or.jp/zeb/leading_owner/search/owner/
- ZEBリーディング・オーナー一覧 | ZEB事例で検索
https://sii.or.jp/zeb/leading_owner/search/example/

ZEB事例で検索

・設定された検索条件によるZEBリーディング・オーナーが一覧に表示されます。

・表示された一覧の詳細をCSVファイルでダウンロードできます。

令和2年3月27日時点

ZEB
LEADING
OWNER

建物用途

☐ 事務所等

☐ 物販店舗等

☐ 集会所等

☐ ホテル等

☐ 学校等

☐ その他

☐ 病院等

☐ 飲食店等

☐ すべての建物用途

ZEBランク

☐ ZEB Oriented

☐ ZEB Ready

☐ Nearly ZEB

☐ 『ZEB』

☐ すべてのランク

エリア

☐ 全国 (281件)

☐ 北海道 (8件)

☐ 中部 (60件)

☐ 近畿 (27件)

☐ 中国 (9件)

☐ 九州・沖縄 (48件)

☐ 東北 (20件)

☐ 関東 (83件)

☐ 四国 (26件)

規模

☐ 2,000㎡未満

☐ 2,000㎡以上

☐ 10,000㎡以上

☒ すべての規模

新築/既存建築物

☐ 新築

☐ 増改築

☐ 既存建築物

☐ すべての建築物

地域区分

☐ 1☐ 2☐ 3☐ 4

☐ 5☐ 6☐ 7☐ 8

☐ すべての地域区分

建物名で検索(カタカナ入力)

※「・」等の記号がある場合は、それらを抜いてカタカナ入力してください。

検索する

2

INDEX

1	ZEBリーディング・オーナー公募		5
1-1	ZEBリーディング・オーナー登録の目的		6
1-2	ZEBリーディング・オーナーとは		9
1-3	ZEBリーディング・オーナーの役割		9
1-4	ZEBリーディング・オーナーと本事業の係わり		10
1-5	ZEBリーディング・オーナーの登録対象		10
1-6	ZEBリーディング・オーナーの登録要件		10
1-7	ZEBリーディング・オーナーの登録単位		10
1-8	ZEBリーディング・オーナーの公表		10
1-9	ZEBリーディング・オーナー登録後の定期報告とその一部の公表		10
1-10	ZEBリーディング・オーナーの公募～公表		11
(1)	公募		11
(2)	ポータルサイト・アカウント取得申込～アカウントの付与		11
(3)	ポータルサイトへの情報入力		11
(4)	ZEBリーディング・オーナー登録申請		12
(5)	内容の確認		13
(6)	登録証の交付とZEBリーディング・オーナーの公表		13
1-11	注意事項		13
1-12	提出先及び問合せ先		13
1-13	ZEBリーディング・オーナー登録申請書出力フォーマット		14
1-14	ZEBリーディング・オーナー登録票(SII作成)		21
2	ZEBリーディング・オーナー実績報告		24
2-1	ZEBリーディング・オーナー実績報告の流れ		25
(1)	提出期間		25
(2)	ポータルサイトへの情報入力		26
(3)	ZEBリーディング・オーナー実績報告書提出		26
(4)	ZEBリーディング・オーナー実績報告書の確認		27
(5)	実績の公表		27
2-2	アンケート調査協力について		27
2-3	提出先及び問合せ先		27
2-4	ZEBリーディング・オーナー実績報告書出力フォーマット		28
2-5	ZEBリーディング・オーナー登録票(SII作成)		33
3	関連情報(ZEBリーディング・オーナー・マークについて)		35
3-1	ZEBリーディング・オーナー・マークについて		36
(1)	ZEBリーディング・オーナー・マークの使用対象		36
(2)	ZEBリーディング・オーナー・マークの使用目的		36
(3)	ZEBリーディング・オーナー・マーク使用申込～ダウンロードまでの流れ	...	36
(4)	ZEBリーディング・オーナー・マーク使用に関する注意		37

1 ZEBリーディング・オーナー公募

1 ZEBリーディング・オーナー公募

1 -1 ZEBリーディング・オーナー登録の目的

ZEBの普及に向けては、2030年までに新築建築物の平均でZEB実現が肝要となることから、これから建設される新築建築物等について、ZEB Oriented以上の性能を有する建築物の普及目標を有することが求められます。

「ZEBリーディング・オーナー登録制度」は、ZEB事例を有するオーナー（法人（地公体を除く）、個人等）、ZEBの普及に向けた具体計画を有する事業者などを「ZEBリーディング・オーナー」として公募し、登録・公表することで我が国のZEB普及の活性化を目的とした制度です。

- ZEBロードマップ検討委員会 とりまとめ
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9766998/www.meti.go.jp/press/2015/12/20151217002/20151217002-1.pdf>
- 「ZEBロードマップとりまとめ」概要
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/zeb_report/pdf/report_160212_ja.pdf
- ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ（2018年5月）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/1805_followup_summary.pdf
- 平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ（2019年3月）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/1903_followup_summary.pdf
- 令和元年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ（2020年4月）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/pdf/2004_followup_summary.pdf
- 設計実務者向けZEB設計ガイドライン、ビルオーナーなど事業者向けパンフレット公開ページ
https://sii.or.jp/zeb/zeb_guideline.html

<ご参考> ZEBの定義

2015年12月に公表された「ZEBロードマップ検討委員会とりまとめ」（経済産業省 資源エネルギー庁）により、ZEBについて以下の定義が示されました。

また、2019年3月に公表された「平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ」（経済産業省 資源エネルギー庁）により、大規模な建築物を対象とした新たな定義が追加されました。

【ZEBとは（定性的な定義）】

ZEBとは、「先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物」とします。

特にZEBの設計段階では、断熱、日射遮蔽、自然換気、昼光利用といった建築計画的な手法（パッシブ手法）を最大限に活用しつつ、寿命が長く改修が困難な建築外皮の省エネルギー性能を高度化した上で、建築設備での高度化を重ね合わせるといった、ヒエラルキーアプローチの設計概念が重要です。

ZEBの実現・普及に向けて、以下のとおりZEBを定義します。

『ZEB』	年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物
Nearly ZEB	『ZEB』に限りなく近い建築物として、ZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建築物
ZEB Ready	『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物
ZEB Oriented	ZEB Readyを見据えた建築物として、外皮の高性能化及び高効率な省エネルギー設備に加え、更なる省エネルギーの実現に向けた措置を講じた建築物

なお、「ZEB」はNearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Orientedを含めた広い概念を表すものとし、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Orientedを含めず狭義の「一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物」の意味で用いる場合には『ZEB』と表現します。

【ZEBの判断基準(定量的な定義)】

ZEBは、以下の定量的要件を満たす建築物とする。

			非住宅※ ¹ 建築物					
			①建築物全体評価			②建築物の部分評価		
						(複数用途※ ² 建築物の一部用途に対する評価)※ ³		
			評価対象における基準値からの 一次エネルギー消費量※ ⁴ 削減率		その他の要件	評価対象における基準値からの 一次エネルギー消費量※ ⁴ 削減率		その他の要件
省エネのみ	創エネ※ ⁵ 含む	省エネのみ	創エネ※ ⁵ 含む					
『ZEB』			50%以上	100%以上	—	50%以上	100%以上	・ 建築物全体で基準値 から創エネを除き 20%以上の一次エネ ルギー消費量削減を 達成すること
Nearly ZEB			50%以上	75%以上		50%以上	75%以上	
ZEB Ready			50%以上	75%未満		50%以上	75%未満	
ZEB Oriented	建 物 用 途	事務所等、 学校等、 工場等	40%以上	—	・ 建築物全体の延べ 面積※ ¹ が10,000㎡ 以上であること ・ 未評価技術※ ⁶ を導入すること ・ 複数用途建築物は、 建物用途毎に左記 の一次エネルギー 消費量削減率を達 成すること	40%以上	—	・ 評価対象用途の延べ 面積※ ¹ が10,000㎡以 上であること ・ 評価対象用途に未評 価技術※ ⁶ を導入す ること ・ 建築物全体で基準値 から創エネを除き 20%以上の一次エネ ルギー消費量削減を 達成すること
		ホテル等、 病院等、 百貨店等、 飲食店等、 集会所等	30%以上	—		30%以上	—	

※1 建築物省エネ法上の定義(非住宅部分:政令第3条に定める住宅部分以外の部分)に準拠する。
※2 建築物省エネ法上の用途分類(事務所等、ホテル等、病院等、百貨店等、学校等、飲食店等、集会所等、工場等)に準拠する。
※3 建築物全体の延べ面積が10,000㎡以上であることを要件とする。
※4 一次エネルギー消費量の対象は、平成28年省エネルギー基準で定められる空調設備、空調設備以外の機械換気設備、照明設備、給湯設備及び昇降機とする。(「その他一次エネルギー消費量」は除く)。また、計算方法は最新の省エネルギー基準に準拠した計算方法又はこれと同等の方法に従うこととする。
※5 再生可能エネルギーの対象は敷地内(オンサイト)に限定し、自家消費分に加え、売電分も対象に含める。(但し、余剰売電分に限る。)
※6 未評価技術は公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたものを対象とする。

(出所) 平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ
(経済産業省 資源エネルギー庁)

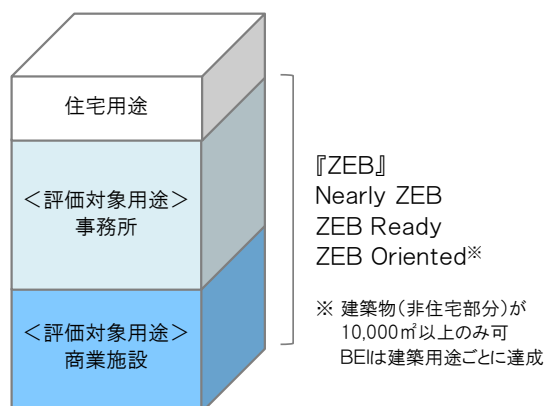
【注意】 上記はZEBロードマップおよびZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめにおけるZEBの定義であり、本公募要領の要件とは異なるため注意してください。

【複数用途建築物におけるZEBの評価方法】

- (1) 複数用途建築物におけるZEBの対象範囲
以下のAとBのいずれか、又は両方とする。
A) 建築物(非住宅部分)全体
B) 建築物(非住宅部分)のうち一部の建物用途¹(※1)
- (2) 建築物(非住宅部分)全体におけるZEBの判断基準(定量的な定義)
対象範囲において、『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented(※2)いずれかの定量的要件を満たすこと。
- (3) 一部の建物用途におけるZEBの判断基準(定量的な定義)
以下の①及び②の定量的要件を満たす建築物(非住宅部分)とする。
① 対象範囲の建物用途において、『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented(※3)いずれかの定量的要件を満たすこと。
② 建築物全体(評価対象外を含む非住宅部分)において、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量を削減すること。

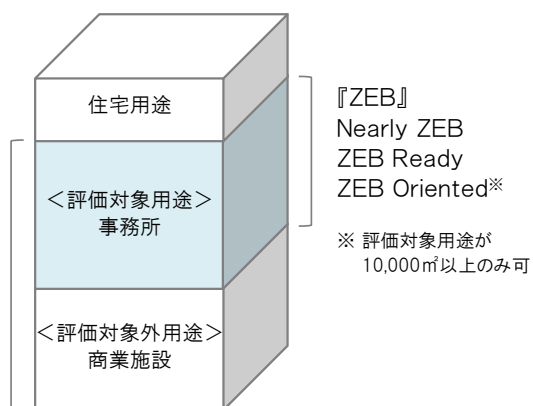
■複数用途建築物におけるZEBの評価イメージ

A. 建築物(非住宅部分)全体を評価する場合



B. 一部の建物用途を評価する場合

〔建築物(非住宅部分)全体の延べ面積が10,000㎡以上を満たす建築物が対象となる。〕



20%以上の省エネ

※1 一部の建物用途を評価する場合、建築物(非住宅部分)全体の延べ面積²が10,000㎡以上であることを要件とする。

※2 ZEB Orientedは一次エネルギー消費量削減の基準を建物用途毎に達成することを要件とする。

※3 ZEB Orientedは対象範囲の建物用途の延べ面積が10,000㎡以上であることを要件とする。

- 1 本定義における複数用途の定義は、建築物省エネ法上の用途分類(事務所等、ホテル等、病院等、百貨店等、学校等、飲食店等、集会所等、工場等)に準拠する。
- 2 本定義における延べ面積の定義は、建築物省エネ法上の定義に準拠する。

(出所) 平成30年度ZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめ
(経済産業省 資源エネルギー庁)

【注意】 上記はZEBロードマップおよびZEBロードマップフォローアップ委員会とりまとめにおけるZEBの定義であり、本公募要領の要件とは異なるため注意してください。

1-2 ZEBリーディング・オーナーとは

令和2年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)」※1の趣旨ならびに、「ZEBロードマップ」の意義に基づき、自らのZEB普及目標やZEB導入計画、ZEB導入実績を一般に公表する先導的建築物※2のオーナーを、SIIは「ZEBリーディング・オーナー」と定め、これを公募します。

SIIは、登録されたZEBリーディング・オーナーをホームページで公表します。

また、政府は、登録されたZEBリーディング・オーナーの情報を基にZEBの普及に向けた更なる施策を検討する予定です。

※1 略称:令和2年度ZEB実証事業 (以下「本事業」という)

※2 ZEBリーディング・オーナー登録におけるZEB事例の対象となる建築物は、日本国内の民生用建築物に限ります。

1-3 ZEBリーディング・オーナーの役割

自らのZEBに関連する取組み(①、②のいずれか)及び、中長期のZEB導入計画と目標(③)について、SIIに報告するとともに情報発信することが、ZEBリーディング・オーナーの役割になります。

① 自らが所有するZEBの公表

自らが所有するZEBについて、SIIに報告するとともに自らもウェブサイトや、情報媒体にて公表する。

② 自らが有するZEB導入計画の公表

具体的な計画として有している「ZEB新築計画」または「既存建築物のZEB化改修計画」について、SIIに報告するとともに自ら公表する。(計画事業の詳細情報の公表は竣工後でも可とする。)

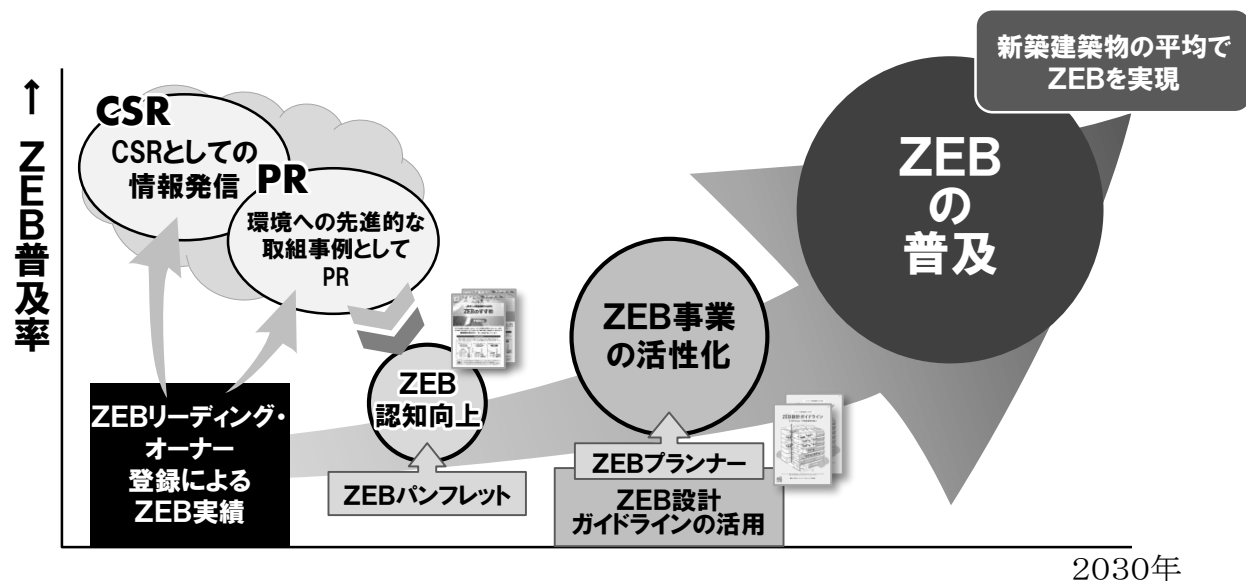
③ 中長期のZEB導入計画と目標の公表

2030年までの中長期のZEB導入計画と導入目標についてSIIに報告するとともに自ら公表する。

※ホームページで公表する場合は、トップページに掲載するなど、閲覧者が容易にアクセスできるように工夫してください。

※SIIが公表するZEBリーディング・オーナー一覧への誘導(リンク等)を行うことによる公表も可とします。

ZEBリーディング・オーナー登録制度の目的



1-4 ZEBリーディング・オーナーと本事業の係わり

- ① ZEBリーディング・オーナー登録制度は、本事業への補助金申請を行わない場合も申請を受付けます。
- ② 本事業へ申請する場合は、ZEBリーディング・オーナー登録が必須となります。交付決定後、本事業の事業完了時までZEBリーディング・オーナーへ登録完了することが必要です。(本事業公募要領P. 10参照)

1-5 ZEBリーディング・オーナーの登録対象

ZEBリーディング・オーナーの登録対象は法人(地公体を除く)、個人等です。
※地公体は環境省ZEB事業の補助対象であるため、環境省ZEB事業の執行団体にて「ZEBリーディング・オーナー登録申請」を行ってください。

1-6 ZEBリーディング・オーナーの登録要件

ZEBリーディング・オーナーに登録されるためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ① ZEBに係わる実績または具体計画を有していること。
・ZEB導入実績(1件以上)または具体的なZEB導入計画(1件以上)
- ② 中長期のZEB導入計画または導入目標を有していること。
・2030年までの中長期的なZEB導入計画、導入目標。
- ③ ZEB導入実績、計画、目標を自ら公表していること。
- ④ 自らのZEBに係わる計画、目標の実施状況を2021年4月に報告し、以降新規のZEB実績が追加された場合は都度報告を行うこと。
- ⑤ 日本国内にある建築物のオーナーであること。
- ⑥ 「暴力団排除に関する誓約事項」に記載されている事項に該当しないこと。
- ⑦ 経済産業省の所管補助金交付等の停止及び契約に係わる指名停止措置を受けていないこと。

1-7 ZEBリーディング・オーナーの登録単位

ZEBリーディング・オーナーの登録は、原則として1事業者につき1登録とします。

1-8 ZEBリーディング・オーナーの公表

SIIは、ZEBリーディング・オーナー申請書を受領後、確認ののち、ZEBリーディング・オーナーのZEB導入実績と、ZEB導入計画、今後の目標について、情報を公表します。(計画中の事業について公表が憚られる場合は、竣工後の公表で構いません。)

- ① 法人情報(法人名、所在地、業種、ホームページURL等)
- ② 所有するZEB事例(所在地、建物用途、建築物名称、一次エネルギー削減率、省エネ性能評価等)

1-9 ZEBリーディング・オーナー登録後の定期報告とその一部の公表

登録されたZEBリーディング・オーナーは、以下の内容について報告をするともに、2021年4月に自社のホームページ、環境報告書、会社パンフレット等の社外向けの資料で公表を行ってください。以降は新規の実績が追加された場合に随時報告を行ってください。

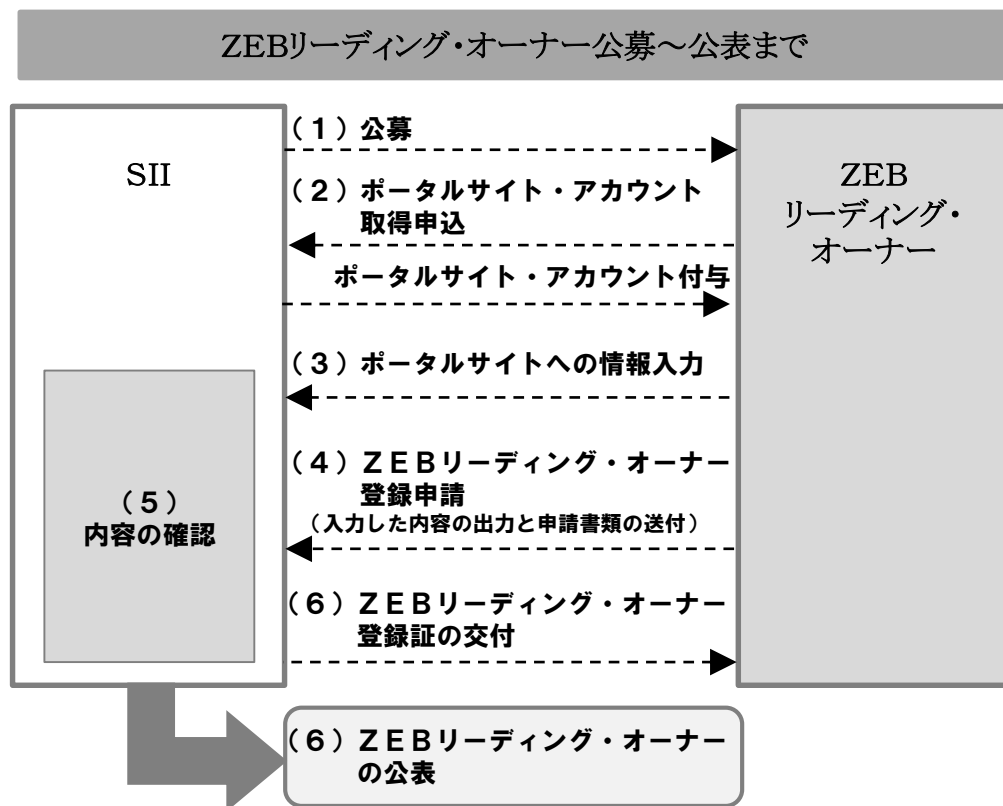
<報告内容>

- ・報告時におけるZEB導入実績
- ・報告対象年度のZEB導入計画に関する取組み状況

※ 政府は、ZEBリーディング・オーナーの登録情報や報告された内容をZEB普及状況の確認や公表、さらなるZEB普及施策の実施や検討等に用いる予定ですので、あらかじめご了承ください。

1-10 ZEBリーディング・オーナーの公募～公表

ZEBリーディング・オーナーの公募から公表までの手順は、以下の流れに沿って行います。



(1)公募

SIIは以下の期間にZEBリーディング・オーナーを公募します。

公募期間：2020年4月8日(水) ～ 2021年1月29日(金) 17:00必着

※本事業へ申請している場合はZEBリーディング・オーナーの公募期間に係らず、事業完了との関係に注意してください。

(2)ポータルサイト・アカウント取得申込～アカウントの付与

ZEBリーディング・オーナーの登録申請は、SIIがWeb上に設置するポータルサイトを活用して行ってください。SIIホームページに設置したアカウント取得の申込書類に必要情報を入力し手続きを行ってください。アカウント取得申込後、登録したメールアドレス宛にアカウント情報(ユーザー名、パスワード)が通知されます。

※アカウント取得申込以降のポータルサイトの運用についてはSIIホームページに掲載の「ZEBリーディング・オーナー登録申請の手引き」を参照してください。

(3)ポータルサイトへの情報入力

アカウント情報を通知したメールに記載されているZEBリーディング・オーナー・ポータルサイトのURLにアクセスして、取得したアカウント情報(ユーザー名・パスワード)でログインして必要事項を入力してください。

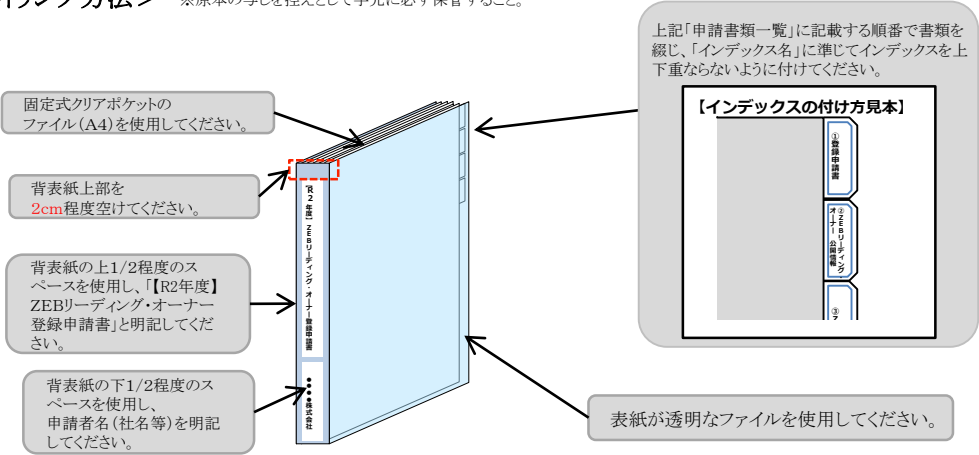
(4)ZEBリーディング・オーナー登録申請

必要事項を入力後、ポータルサイト上で生成されるPDF(下表①、②)を出力してください。
書類の必要箇所に押印し、下表③～⑨の書類と併せてSIIが指定する方法でファイリングし、SIIへ送付してください。
なお、申請書類一式は**原本の写しを控えとして手元に必ず保管してください。**
※押印は必ず「登録印」で行ってください。

<申請書類一覧>

No.	インデックス名	様式	必須● 該当○	申請書類名	ポータル 出力帳票	備考	SIIHP公開
①	登録申請書	指定	●	ZEBリーディング・オーナー登録申請書_定型様式1	●	申請者の詳細、ZEBリーディング・オーナー登録に係わる誓約書を含む	
②	ZEBリーディング・オーナー公開情報	指定	●	ZEBリーディング・オーナー登録申請書_定型様式2 (ZEBリーディング・オーナー公開情報)	●		●
		指定	●	ZEBリーディング・オーナー登録申請書_定型様式3 導入実績・導入計画	●		●
③	会社概要	自由書式	●	会社概要書(会社名、所在地が含まれること。)		パンフレット等でも可	
④	商業登記簿謄本	写し	●	商業登記簿謄本(現在事項全部証明書)		3カ月以内に発行されたもの ※個人等の場合は印鑑登録証明書を提出	
⑤	建物登記簿謄本	写し	●	登録対象建築物の建物登記簿謄本		3カ月以内に発行されたもの 新築で、登録申請時にまだ建物登記していない場合は「確認済証」の写しを提出	
⑥	省エネルギー性能確認資料	写し	●	登録対象建築物の省エネルギー計算結果が確認できる資料の写し		省エネルギー性能の値をポータルサイトに入力する際に根拠とした資料	
⑦	省エネルギー性能表示評価書	写し	○	登録対象建築物の省エネルギー性能表示評価書		取得している場合は提出	
⑧	公表資料	自由書式	●	登録対象建築物の公表資料		ホームページ等のWebページでZEB実績や計画が掲載されている箇所を印刷したものや、会社案内等	
⑨	CD-R	自由	●	登録対象建築物の建物外観写真やパース図を保存		登録票に掲載し、SIIのホームページで公開 データの形式は「jpg」もしくは「png」とする	●

<ファイリング方法> ※原本の写しを控えとして手元に必ず保管すること。



(5) 内容の確認

SIIは、公募期間中に届いたZEBリーディング・オーナー登録申請内容について確認を行います。確認完了後、SIIのホームページで公開する「ZEBリーディング・オーナー登録票」(P. 21～23参照)を申請者に対し共有します。

(6) 登録証の交付とZEBリーディング・オーナーの公表

SIIでは確認が完了し、適正であると認めた登録申請者に対して、ZEBリーディング・オーナー登録証を交付します。

また、確認の結果は登録の可否に係わらず申請者に通知します。

ZEBリーディング・オーナーの公表は、SIIホームページにて随時行います。

※申請書の到着などに関する個別の問合せについては、一切応じられませんのであらかじめご了承ください。

1-11 注意事項

ZEBリーディング・オーナーの登録申請者は、虚偽の内容を含む申請をしてはなりません。

1-12 提出先及び問合せ先

申請書類の提出先及び問合せ先は以下のとおりです。

【提出先】

〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル7階

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 事業第2部

『令和2年度 ZEBリーディング・オーナー登録』申請係

※「令和2年度 ZEBリーディング・オーナー登録申請書在中」と必ず記入してください。

【発送の注意事項】

※SIIから申請者に対して申請書類を受け取った旨の連絡はいたしません。

配送状況が確認できる手段(簡易書留等)で送付してください。

※申請者がSIIに送付する申請書は「信書」に該当するものが含まれることから、

郵便物・信書便物以外の荷物扱いで発送できませんので注意してください。

※申請書の持込みは受理しませんので注意してください。

【問合せ先】

TEL:03-5565-4063 (10:00～12:00、13:00～17:00 平日のみ)

1-13 ZEBリーディング・オーナー登録申請書出力フォーマット
【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー登録申請書(1/5)】

ZEBリーディング・オーナー登録申請書

定型様式1

2020 年 4 月 8 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代 表 理 事 赤池 学 殿

登録申請者 郵便番号 〒 104 - 0031

所在地 東京都中央区京橋一丁目〇番地〇号

名称 株式会社カンキョウ共創建設

代表者等名 代表取締役 環境 太郎

登
録
印

令和2年度 省エネルギー投資促進に向けた支援補助金
(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)
ZEBリーディング・オーナー登録申請書

令和2年度 省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)のZEBリーディング・オーナー登録を申請します。

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー登録申請書(2/5)】

ZEBリーディング・オーナー登録申請書

定型様式1

申請者の詳細

1. ZEBリーディング・オーナー情報

フリガナ	カブシキガイシャカンキョウキョウソウケンセツ				
名称	株式会社カンキョウ共創建設				
法人番号 (13桁)	0000000000000				
代表者役職	代表取締役				
フリガナ	カンキョウ				タロウ
代表者	氏	環境		名	太郎
住所	〒	104	-	0031	都道府県 東京都 市区町村 中央区
	京橋一丁目〇番地〇号				
業種	大分類	建設業			
	中分類	総合工事業			

2. 申請実務担当者情報

所属部署	総務部総務課				
担当者役職	係長				
フリガナ	ソウム				タロウ
担当者	氏	総務		名	太郎
住所	〒	104	-	0031	都道府県 東京都 市区町村 中央区
	京橋一丁目〇番地〇号 ×××ビル10階				
電話番号	03	-	0000	-	0000
FAX番号	03	-	0000	-	0000
携帯電話番号	090	-	0000	-	0000
E-MAIL	t.soumu			@ example.com	

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー登録申請書(3/5)】

別紙 1

役員名簿

法人・団体名等：株式会社カンキョウ共創建設

[illegible]

(注1)
申請者が個人の場合は不要とする。

(注2)
役員名簿については、氏名カナ(全角、姓と名の間を全角で1マス空け)、氏名漢字(全角、姓と名の間を全角で1マス空け)、生年月日(全角で大正はT、昭和はS、平成はH、数字は2桁全角)、性別(全角で男性はM、女性は何)、会社名及び役職名を記入する。
また、外国人については、氏名漢字欄は商業登記簿に記載のとおりに記入し、カナ欄はカナ読みを記入すること。

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー登録申請書(4/5)】

別紙2 2020 年 4 月 8 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代 表 理 事 赤池 学 殿

令和2年度 省エネルギー投資促進に向けた支援補助金
(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)
ZEBリーディング・オーナー登録に係る誓約書

私は、ZEBリーディング・オーナー登録の申請を一般社団法人環境共創イニシアチブ（以下「SII」という。）に提出するに当たって、以下の要件について誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、一切異議は申し立てません。

- 1. ZEBリーディング・オーナー登録申請
本事業の交付規程及び公募要領の内容を全て承知の上で、ZEBリーディング・オーナーの役割及び要件等について確認し、了承している。
- 2. 暴力団排除
別紙3の暴力団排除に関する誓約事項について熟読し、理解の上、これに同意している。
- 3. 申請・登録の無効
申請書及び添付書類一式に記載した内容について責任をもち、虚偽、不正の内容が一切ないことを確認している。
申請書及び添付書類一式の虚偽、不正が発覚した場合、ZEBリーディング・オーナー登録後であってもSIIはこれを無効とすることができることを理解し、了承している。
- 4. ZEBリーディング・オーナー情報の利用
SIIが取得したZEBリーディング・オーナー情報については、申請に係わる事務処理に利用する他、SIIが開催するセミナー、シンポジウム、本事業の効果検証のための調査・分析、SIIが作成するパンフレット・事例集、国が行うその他調査業務等に利用されることがあり、その場合、国が指定する外部機関に個人情報提供されることを理解し、了承している。
- 5. 申請登録内容の変更及び取下げ
申請書の提出後に申請登録内容に変更が発生した場合には、SIIに速やかに報告することを了承している。
- 6. 調査等の協力
ZEBリーディング・オーナーとしての活動が計画に適して公正に実施されているかを判断するための調査等に協力することを理解し、了承している。
- 7. 事業の不履行等
ZEBリーディング・オーナー登録後、不正等が発覚した場合、SIIはそのZEBリーディング・オーナーの登録を抹消することが出来ることを理解し、了承している。
- 8. 報告義務
ZEBリーディング・オーナーは2021年4月に自らのZEBに係わる計画、目標の実施状況をSIIに報告し、以降新規のZEB実績が追加された場合は都度報告を行う義務があることを理解し、了承している。
- 9. 免責
SIIは、ZEBリーディング・オーナーとその他の者との間に生じるトラブルや損害について、一切の関与・責任を負わないことを理解し、了承している。
- 10. 事業の内容変更、終了
SIIは、国との協議に基づき、本事業及び、ZEBリーディング・オーナー登録制度を終了、又は内容の変更を行うことができることを承知している。

以上の誓約事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認した上で署名・押印します。

名称	株式会社カンキョウ共創建設
代表者等名	代表取締役 環境 太郎

登録印

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー登録申請書(5/5)】

別紙3

2020 年 4 月 8 日

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、登録の申請をするに当たって、また、公表期間及び公表後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- （1） 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- （2） 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- （3） 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- （4） 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき

以上

【定型様式2 ZEBリーディング・オーナー公開情報】

Z E Bリーディング・オーナー登録申請書

(1 / 1)

定型様式 2

Z E Bリーディング・オーナー公開情報

※ Z E Bリーディング・オーナー登録の要件を満たした場合、 S I I は以下の情報を「 Z E Bリーディング・オーナー登録票」としてホームページにて公表します。

基本情報		
業種	名称	株式会社カンキョウ共創建設
	大分類	建設業
	中分類	総合工事業
	H P	https://example.com/
Z E B への取組み目標（2030年中長期計画）		
ZEBの取組みは、「地球環境を守り、地球にやさしい企業」を経営理念としている我が社において、取り組むべき重要課題として位置付けている。企業活動で消費されるエネルギー消費量を削減することは、地球温暖化の防止、枯渇が懸念されている化石燃料の消費削減にもつながり、社会へ貢献できると考える。 さらに、エネルギーのコスト削減になり、経営資源を光熱費から研究開発、新規事業への投資に向けられる効果を期待している。イニシャル、ランニング両面からのZEBメリットを検証しZEBの普及促進へ寄与したいと考えている。		

導入計画・導入実績		導入計画	導入計画登録年度		2020	導入実績登録年度			建物用途評価		●
1	建築物の名称		株式会社カンキョウ共創建設本社ビル								
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
	東京都	新築	事務所	10,000	11	2021	50	52	ZEB Ready		
導入計画・導入実績		導入実績	導入計画登録年度			導入実績登録年度		2020	建物用途評価		
2	建築物の名称		株式会社カンキョウ共創建設研究センター								
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
	大阪府	既存建築物	事務所	5,000	5	2020	50	76	Nearly ZEB		
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
3	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
4	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
5	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
6	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
7	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
8	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
9	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績			導入計画登録年度			導入実績登録年度			建物用途評価		
10	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			

【定型様式3 ZEBリーディング・オーナー導入事例】

ZEBリーディング・オーナー登録申請書

(1 / 2)

定型様式3

※ZEBリーディング・オーナー登録の要件を満たした場合、S I Iは以下の情報を「導入実績」「導入計画」としてホームページに公表します。

※ZEBに係わる工事が完了した建物は「導入実績」となります。

導入計画・導入実績	導入計画	導入計画登録年度	2020	導入実績登録年度		建物用途評価	●	
建築物の名称								
株式会社カンキョウ共創建設本社ビル								
建築物の名称（フリガナ）								
カブシキガイシャカンキョウキョウソウケンセツホンシャビル								
建物のコンセプト								
設計段階から、ヒエラルキーアプローチで、建築形状、方位などを検討、環境負荷の軽減を図った。設備設計では、エネルギー消費の大きい空調、次に照明負荷の軽減対策を行っている。								
都道府県	地域区分	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積 (㎡)	階数		主な構造	竣工年
東京都	6	新築	事務所	10,000	地下	地上	SRC造	2021
技術 設備		仕様						
建築物エネルギー技術（バッシン）	外皮断熱	外壁	硬質ウレタンフォーム100mm					
		屋根	硬質ウレタンフォーム50mm					
		窓	Low-E複層ガラス					
		遮蔽						
		遮熱						
	自然利用	自然通風/自然換気電動窓						
	その他							
設備省エネルギー技術（アクティブ）	空調	機器（熱源）	モジュールチラー/熱回収ヒートポンプ/インバータポンプ					
		システム	外気冷房制御/外気取入量制御/ナイトバージ制御					
	換気	機器	インバータファン					
		システム	CO2連動制御					
	照明	機器	LED照明器具					
		システム	調光制御/人感制御/タイムスケジュール制御/タスク&アンビエント照明					
	給湯	機器	ヒートポンプ給湯器					
		システム	-					
	昇降機（ロープ式）							
	変圧器							
効率化	コージェネ	機器	-					
		システム	-					
	再エネ	機器	太陽光発電					
		システム	創雷連携					
蓄電池		機器	鉛蓄電池					
その他技術	機器							
	システム	-						
BEMS	システム	設備間統合制御/設備と利用者間連携制御/負荷コントロール/チューニング						
省エネルギー性能					省エネルギー認証取得			
一次エネルギー消費量（MJ/年㎡）			BPI/BEI	BELS	ZEB Ready			
	基準値	設計値		CASBEE				
PAL*	470	368	0.79	LEED				
空調	600.11	300.15	0.51	ISO50001				
換気	66.00	45.00	0.69	その他				
照明	437.00	225.26	0.52	一次エネルギー削減率				
給湯	10.25	5.12	0.50	創エネ含まず*	創エネ含む			
昇降機	20.11	15.45	0.77	50	%	52		
コージェネ発電量	0.00	0.00	-					
創エネ	0.00	-45.51	-					
その他	201.53	201.53	-					
合計	1335	747	0.56					
合計（創エネ含まず）	1335	792	0.60					

ZEBランク

ZEB Ready

1-14 ZEBリーディング・オーナー登録票(SII作成)

【ZEBリーディング・オーナー登録票(1/2)】

ZEBリーディング・オーナー登録票

ZEB2020L-00000-P

オーナー名	株式会社カンキョウ共創建設		
業種	大分類	建設業	中分類
HP	https://example.com/		
		総合工事業	

ZEBへの取組み目標（2030年中長期計画）

ZEBの取組みは、「地球環境を守り、地球にやさしい企業」を経営理念としている我が社において、取り組むべき重要課題として位置付けている。企業活動で消費されるエネルギー消費量を削減することは、地球温暖化の防止、枯渇が懸念されている化石燃料の消費削減にもつながり、社会へ貢献できると考える。

さらに、エネルギーのコスト削減になり、経営資源を光熱費から研究開発、新規事業への投資に向けられる効果を期待している。イニシャル、ランニング両面からのZEBメトリックを検証しZEBの普及促進へ寄与したいと考えている。

導入実績・導入計画

	建築物の名称	区分	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積	階数	竣工年	一次エネルギー削減率		ZEBランク
									創エネ含まず	創エネ含む	
1	株式会社カンキョウ共創建設本社ビル	計画	東京都	新築	事務所等	10,000 m ²	11階	2021	50.0 %	52.0 %	ZEB Ready
2	株式会社カンキョウ共創建設研究センター	実績	大阪府	既存建築物	事務所等	5,000 m ²	5階	2020	50.0 %	76.0 %	Nearly ZEB
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

ZEB2020L-00000-P

ZEBリーディング・オーナー 導入実績①

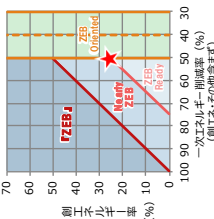
オーナー名 株式会社カンキョウ共創建設

建築物の名称



建築物のコンセプト

光熱費等のランニングコスト削減はもちろんの事、就業環境の快適さを追求することから、生産性向上につながるのと考え、ZEBでの建築を行った。設計段階から、ヒートリカバリーアプローチによる、建築形状、方位などを検討、環境負荷の軽減を図っている。

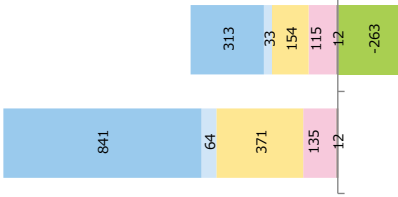


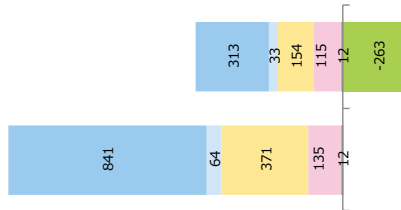
Nearly ZEB

技術	設備	仕様
建築省エネルギー技術 (パッシブ)	外皮断熱	外壁 硬質ウレタンフォーム100mm
		屋根 硬質ウレタンフォーム50mm
		窓 Low-E樹脂ガラス
		遮蔽
		遮熱
		自然利用
	その他	
設備省エネルギー技術 (アクティブ)	機器 (熱源)	ヒルミル (EHP)/ルームエアコン/全熱交換器
	空調	システム 外気冷房制御/外気取入量制御/ナイトバージ御
	換気	機器
		システム

ZEB実現に資するシステムのみ記載しています。

技術	設備	仕様
設備 (アーク 省エネ エンジン テクノロジー) 技術	照明	LED照明器具
		システム
	給湯	ヒートポンプ給湯器
		システム
	昇降機 (ロープ式)	-
	変圧器	トランスオン変圧器
効率化	コージェネ	機器
		システム
	再エネ	機器
		太陽光発電
	蓄電池	システム
その他 技術		創蓄連携
		鉛蓄電池
		機器
BEMS		システム
		システム
		設備間統合制御/設備と利用者間連携制御/負荷コントロール/チャージング

登録年度		2020	
建築物概要			
都道府県	地域区分	新/既	建物用途
大阪府	6	既存建築物	事務所等
延べ面積	階数(塔屋を除く)		主材構造
5,000 m ²	地下 -	地上 5階	SRC造
2020年			
省エネルギー 認証取得			
✓ BELS	Nearly ZEB	CASBEE	
LEED		ISO50001	
その他			
一次エネルギー削減率 (その他含まず)			
創エネ含まず	50 %	創エネ含む	76 %
省エネルギー 性能			
一次エネルギー消費量(MJ/年m ²)		BP/BEI	
	基準値	設計値	
PAL *	470	280	0.60
空調	840.12	312.01	0.38
換気	63.56	32.70	0.52
照明	370.06	153.90	0.42
給湯	134.48	114.61	0.86
昇降機	11.03	11.03	1.00
コージェネ 発電量	0.00	0.00	-
創エネ	0.00	-263.00	-
その他	253.75	253.75	-
合計	1,673	615	0.37
			
創エネ含まず		設計値	
1,673	615	0.53	0.53

[illegible]

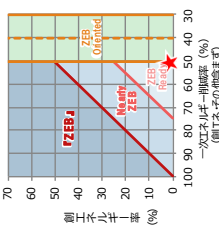
項目	金額	比率
創エネ含まず	1,673	0.53
合計	878	

BEMS システム

オーナー名	登録年度	2020
株式会社カンキョウ共創建設		建物用途評価
株式会社カンキョウ共創建設本社ビル		

建築物のコンセプト

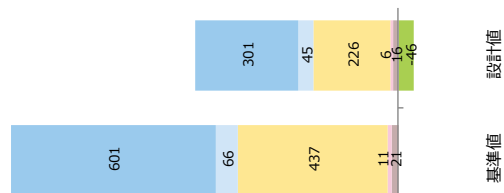
設計段階から、エネルギー・アプローズで、建築形状、方位などを検討、環境負荷の軽減を図った。設備設計では、エネルギー消費の大きい空調、次に照明負荷の軽減対策を行っている。



ZEB Ready
ZEB Ready
ZEB Ready

技術	設備	仕様	仕様
建築省エネルギー技術 (パッシブタイプ)	外皮断熱	外壁	硬質ウレタンフォーム100mm
		屋根	硬質ウレタンフォーム50mm
		窓	Low-E複層ガラス
		遮蔽	
		遮熱	
	自然利用	自然風風/自然換気電動窓	
設備省エネルギー技術 (アクティブタイプ)	その他	機器(熱源)	モジュールラ/熱回収ヒートポンプ/インバータポンプ
		空調	外気冷房制御/外気取入量制御/ナイトバジ制御
	換気	機器	インバータファン
		システム	CO2運動制御

技術	設備	仕様	仕様
設備省エネルギー技術 (アクティブタイプ)	照明	機器	LED照明器具
		システム	調光制御/人感制御/タイムスケジュール制御/タスク&アンビエント照明
		機器	ヒートポンプ給湯器
		システム	-
		昇降機(ロープ式)	
	変圧器		
効率化	コージェネ	機器	-
	再エネ	システム	-
		機器	太陽光発電
	蓄電池	システム	創価連携
		機器	鉛蓄電池
その他技術	機器		
	システム	-	
BEMS	システム	設備間統合制御/設備と利用者間連携制御/負荷コントロール/チューニング	



7EB実現に資するシステムのみ記載しています。

2 ZEBリーディング・オーナー実績報告

本章は、平成31年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業)(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)(以下「平成31年度ZEB実証事業」という)」においてZEBリーディング・オーナー登録を行ったZEBリーディング・オーナーによる「令和2年度 ZEBリーディング・オーナー実績報告」についての要領となります。

本事業において新規にZEBリーディング・オーナー登録申請を行う方は、「1 ZEBリーディング・オーナー公募」(P. 5)をご確認ください。

2 ZEBリーディング・オーナー実績報告

平成31年度ZEB実証事業において、ZEBリーディング・オーナー登録を受け、公表されたZEBリーディング・オーナーは、ZEBへの取組み目標に対する行動や、新規のZEB事例について、実績報告書をSIIが定める期間内に提出する必要があります。

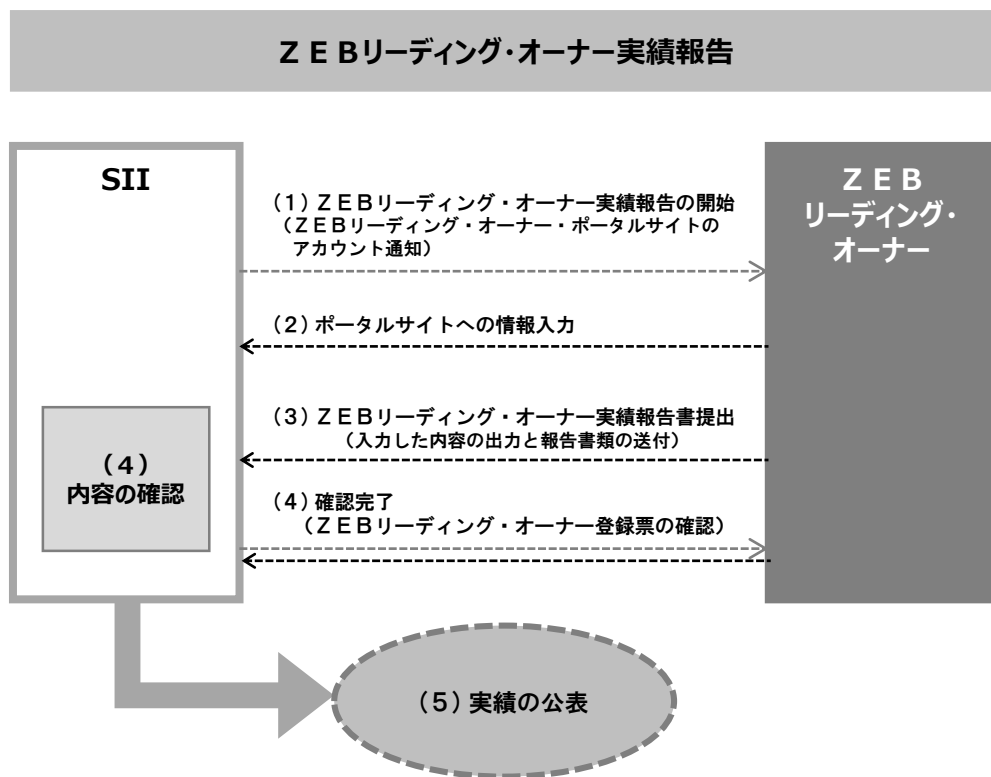
なお、新しく追加されたZEB事例や、更新したZEBリーディング・オーナー登録情報はSIIホームページにて公表します。

※ZEBリーディング・オーナーは、SIIに報告した平成31年度の実績報告を自社のホームページ、会社概要または一般消費者の求めに応じて表示できる書類等で公表する必要があります。

※ZEBリーディング・オーナー登録翌年度の4月に実績報告を行った後は、新規のZEB事例を有した際に実績報告を行ってください。

2 -1 ZEBリーディング・オーナー実績報告の流れ

ZEBリーディング・オーナー実績報告は以下の流れに沿って行います。



(1) 提出期間

ZEBリーディング・オーナーは、以下の期間内にZEBリーディング・オーナー実績報告書を提出してください。

実績報告期間 | 2020年4月8日(水) ~ 2020年5月14日(木) 12:00必着

(2)ポータルサイトへの情報入力

平成31年度登録申請の際に使用したユーザー名とパスワードにてZEBリーディング・オーナー・ポータルサイトにログインし、必要事項を入力してください。

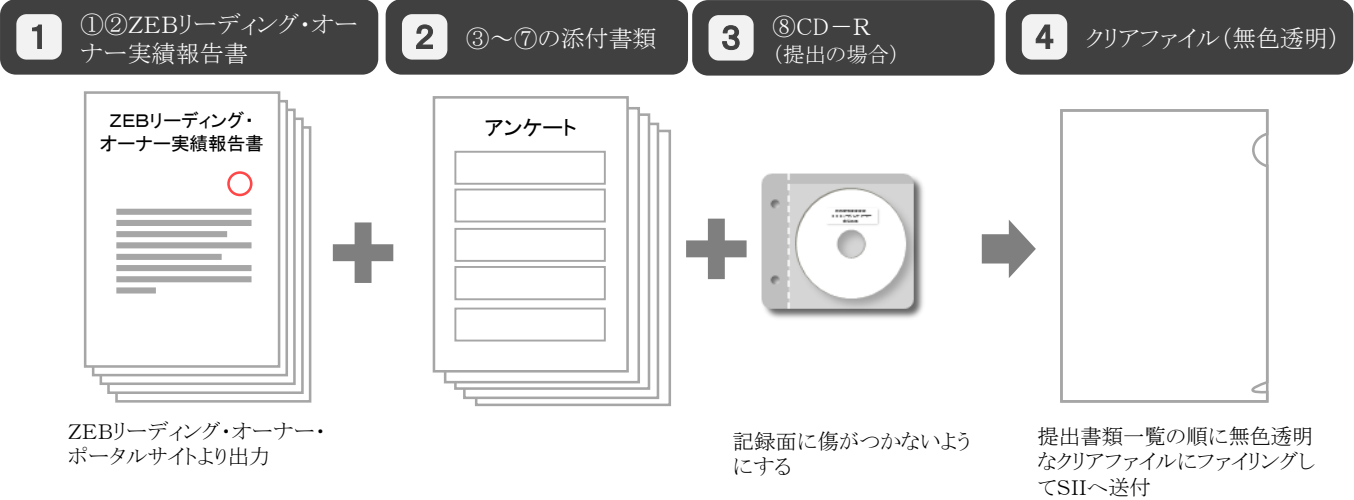
(3) ZEBリーディング・オーナー実績報告書提出

必要事項を入力後、ポータルサイト上で生成されるPDF(下表①、②)を出力してください。
書類の必要箇所に押印し、下表③～⑧の書類を併せてSIIが指定する方法でファイリングし、SIIへ送付してください。
なお、実績報告書類一式は原本の写しを控えとして手元に必ず保管してください。
※押印は必ず「登録印」で行ってください。

<提出書類一覧>

No.	インデックス名	様式	必須● 該当○	書類名	ポータル 出力帳票	備考	SIIHP公開
①	実績報告書	指定	●	ZEBリーディング・オーナー実績申請書_定型様式1	●		
②	ZEBリーディング・オーナー公開情報	指定	●	ZEBリーディング・オーナー実績報告書_定型様式2 (ZEBリーディング・オーナー公開情報)	●		●
		指定	●	ZEBリーディング・オーナー実績報告書_定型様式3 導入実績・導入計画	●		●
③	アンケート	指定	●	ZEBリーディング・オーナー登録に係わるアンケート		ZEBリーディング・オーナー登録に係わるアンケートについて、回答(回答項目は任意)	
④	建物登記簿謄本	写し	○	実績報告で追加した登録対象建築物の建物登記簿謄本		3カ月以内に発行されたもの 新築で登録申請時に、まだ建物登記していない場合は「確認済証」の写しを提出	
⑤	省エネルギー性能確認資料	写し	○	実績報告で追加した登録対象建築物の省エネルギー計算結果が確認できる資料の写し		省エネルギー性能の値をポータルサイトに入力する際に根拠とした資料	
⑥	省エネルギー性能表示評価書	写し	○	実績報告で追加した登録対象建築物の省エネルギー性能表示評価書			
⑦	公表資料	自由書式	○	実績報告で追加した登録対象建築物の公表資料		ホームページ等のWebページでZEB実績や計画が掲載されている箇所を印刷したものや、会社案内等	
⑧	CD-R	自由	○	実績報告で追加した登録対象建築物の建物外観写真やパース図を保存		登録票に掲載し、SIIのホームページで公開 データの形式は「jpg」もしくは「png」とする	●

<ファイリング方法>



(4) ZEBリーディング・オーナー実績報告書の確認

SIIは、実績報告期間中に届いたZEBリーディング・オーナー実績報告内容について確認を行います。SIIでの確認が完了次第、ZEBリーディング・オーナー実績報告の内容を反映した「ZEBリーディング・オーナー登録票」をポータルサイトにアップロードしますので、ZEBリーディング・オーナーは確認を行ってください。

(5) 実績の公表

SIIでは、提出されたZEBリーディング・オーナー実績報告書の確認が完了した際には、SIIホームページに掲載するZEBリーディング・オーナー一覧において、更新されたZEBリーディング・オーナー登録票及び、新規に追加されたZEB事例を公表します。

※詳細については、SIIホームページをご確認ください。

※書類の到着状況や確認状況など個別の問合せについては、一切、応じられませんのであらかじめご了承ください。

2 -2 アンケート調査協力について

経済産業省の求めにより、ZEBの普及に関するアンケート調査等を行う場合があります。調査対象となった場合は、ご協力ください。

2 -3 提出先及び問合せ先

実績報告書類の提出先及び問合せ先は以下のとおりです。

【提出先】

〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル7階

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 事業第2部

『令和2年度 ZEBリーディング・オーナー実績報告』係

※「令和2年度 ZEBリーディング・オーナー実績報告書在中」と必ず記入してください。

【発送の注意事項】

※SIIからZEBリーディング・オーナーに対して実績報告書類を受け取った旨の連絡はいたしません。

配送状況が確認できる手段(簡易書留等)で送付してください。

※ZEBリーディング・オーナーがSIIに送付する実績報告書は「信書」に該当するものが含まれることから、

郵便物・信書便物以外の荷物扱いで発送できませんので注意してください。

※実績報告書の持ち込みは受理しませんので注意してください。

【問合せ先】

TEL : 03-5565-4063 (10:00~12:00、13:00~17:00 平日のみ)

2 -4 ZEBリーディング・オーナー実績報告書出力フォーマット

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー実績報告書（1/3）】

ZEBリーディング・オーナー実績報告書

定型様式1

2020 年 4 月 8 日

ZEBリーディング・オーナー登録番号 ZEB2019L-00000-P

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

代 表 理 事 赤 池 学 殿

郵便番号 〒 104 - 0031

所在地 東京都中央区京橋一丁目〇番地〇号

名称 株式会社カンキョウ共創建設

代表者等名 代表取締役 環境 太郎

登
録
印

令和2年度 省エネルギー投資促進に向けた支援補助金

（住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業）

（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業）

ZEBリーディング・オーナー実績報告書

一般社団法人 環境共創イニシアチブが登録・公表を行うZEBリーディング・オーナー登録制度において、登録を受けたZEBリーディング・オーナー登録番号 ZEB2019L-00000-P のZEBリーディング・オーナー実績について責任をもち、虚偽、不正なく下記の通り報告します。

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー実績報告書（2/3）】

ZEBリーディング・オーナー実績報告書

定型様式1

申請者の詳細

1. ZEBリーディング・オーナー情報

フリガナ	カブシキガイシャカンキョウキョウソウケンセツ		
名称	株式会社カンキョウ共創建設		
業種	大分類	建設業	
	中分類	総合工事業	

2. 実務担当者情報

所属部署	総務部総務課				
担当者役職	課長				
フリガナ	ソウム			タロウ	
担当者	氏	総務			名 太郎
住所	〒	104	-	0031	都道府県 東京都 市区町村 中央区
	京橋一丁目〇番地〇号 ×××ビル10階				
電話番号	03	-	0000	-	0000
FAX番号	03	-	0000	-	0000
携帯電話番号	090	-	0000	-	0000
E-MAIL	t.soumu			@ example.com	

【定型様式1 ZEBリーディング・オーナー実績報告書（3/3）】

ZEBリーディング・オーナー実績報告書

定型様式1

ZEBリーディング・オーナーとしての取組み

3. 「ZEBへの取組み目標」に對しとった具体的行動

自社が保有する物件で既存建築物の改修について、ZEBを目指すことを決定した。
環境配慮や社会貢献はもちろんだが、本社ビルをZEBにしたことで就業環境が向上し、
社員からの評判がとても良いことが理由の一つである。
ZEBが、地球にも人にも優しいということを身をもって感じるようになった。
本体験を多くの人に伝えるとともに、リクルートにおいても自社の売りとして広く周知していきたいと考える。

4. ZEBリーディング・オーナー登録したことで感じる効果

同じような業種の企業からの問い合わせや、地方新聞からの取材が増えた。
ZEBで働く快適性が広く周知されたことで、「優良企業」としてメディアで取り上げられることがあった。
また、ZEBリーディング・オーナー・マークを使用してホームページにZEBの導入実績を掲載したと、
環境保護に積極的な企業として認知度が上がった。

【定型様式2 ZEBリーディング・オーナー公開情報】

Z E Bリーディング・オーナー公開情報

※登録済のZ E Bリーディング・オーナー公開情報について更新内容を反映し、S I Iは以下の情報を「Z E Bリーディング・オーナー登録票」としてホームページにて公表します。

基本情報		
業種	名称	株式会社カンキョウ共創建設
	大分類	建設業
	中分類	総合工事業
	H P	https://example.com/
Z E Bへの取組み目標（2030年中長期計画）		
ZEBの取組みは、地球環境を守り、地球にやさしい企業を理念としている我が社においては重要課題として位置付けている。一次エネルギー消費量を削減することは、地球温暖化の防止や、枯渇が懸念されている化石燃料の消費削減にもつながり、社会へ貢献できると考える。さらには、ZEB化の取組みは、企業コストの削減につながり、経営資源を光熱費から研究開発、新規事業への投資に向けられる効果を期待している。新設した本社ビルによって得たZEBのノウハウ、実績を今後全国の事業所に順次展開していく予定である。		

導入計画・導入実績		導入実績		導入計画登録年度		2019	導入実績登録年度		2020	建物用途評価	
1	建築物の名称		株式会社カンキョウ共創建設本社ビル								
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
	東京都	新築	事務所	12,300	11	2019	50	52	ZEB Ready		
導入計画・導入実績		導入実績		導入計画登録年度		導入実績登録年度		2019	建物用途評価		
2	建築物の名称		株式会社カンキョウ共創イニシアチブ九州支店								
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
	熊本県	新築	事務所	5,400	5	2019	59	70	ZEB Ready		
導入計画・導入実績		導入計画		導入計画登録年度		2020	導入実績登録年度		建物用途評価		
3	建築物の名称		株式会社カンキョウ共創イニシアチブ関西支店								
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
	大阪府	既存建築物	事務所	3,371	5	2021	62	76	Nearly ZEB		
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
4	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
5	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
6	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
7	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
8	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
9	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			
導入計画・導入実績				導入計画登録年度		導入実績登録年度		建物用途評価			
10	建築物の名称										
	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積（㎡）	階数	竣工年	一次エネルギー削減率（％）		Z E Bランク		
							創エネ含まず	創エネ含む			

【定型様式3 ZEBリーディング・オーナー導入事例】

ZEBリーディング・オーナー実績報告書

(1 / 3)

定型様式3

※ZEBリーディング・オーナー登録の要件を満たした場合、S11は以下の情報を「導入実績」「導入計画」としてホームページに公表します。

※ZEBに係わる工事が完了した建物は「導入実績」となります。

導入計画・導入実績		導入実績	導入計画登録年度	2019	導入実績登録年度	2020	建物用途評価		
建築物の名称									
株式会社カンキョウ共創建設本社ビル									
建築物の名称（フリガナ）									
カブシキガイシャカンキョウキョウソウケンセツホンシャビル									
建物のコンセプト									
光熱費等のランニングコスト削減はもちろんの事、就業環境の快適さを追求することで、生産性向上につながるものと考えから、ZEBでの建築を行った。設計段階から、ヒエラルキーアプローチによる、建築形状、方位などを検討、環境負荷の軽減を図っている。実運用の中では、BEMSを活用して見える化を行い、各自が運用に合わせた運転、設定の見直しなどチューニングについて啓蒙し、一次エネルギー削減率目標を達成している。									
都道府県		地域区分	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積 (㎡)	階数		主な構造	竣工年
東京都		6	新築	事務所	12,300	1	11	SRC造	2019
技術	設備	仕様							
建築物エネルギー 技術（バ ッシ	外皮断熱	外壁	硬質ウレタンフォーム100mm						
		屋根	硬質ウレタンフォーム50mm						
		窓	Low-E複層ガラス						
		遮蔽							
		遮熱							
	自然利用		-						
	その他		-						
設備省エネルギー 技術（ア クティ ブ）	空調	機器 (熱源)	モジュールチラー/熱回収ヒートポンプ/インバーターポンプ/VAV空調システム						
		システム	外気冷房システム/外気取入量制御システム（CO2制御）						
	換気	機器	インバーターファン						
		システム							
	照明	機器	LED照明器具						
		システム	明るさ検知制御/人感制御/タイムスケジュール制御/タスク&アンビエント照明						
	給湯	機器	ヒートポンプ給湯						
		システム	-						
	昇降機（ロープ式）		VVVF制御						
	変圧器		トップランナー変圧器						
効率化	コージェネ	機器	-						
		システム	-						
	再エネ	機器	太陽光発電						
		システム	全量自家消費						
蓄電池	機器	-							
その他技術	機器								
	システム								
BEMS	システム	設備間統合制御/設備と利用者間連携制御/負荷コントロール/チューニングなど運用時展開							
省エネルギー性能					省エネルギー認証取得				
一次エネルギー消費量（MJ/年㎡）				BPI/BEI	BELS	ZEB Ready			
基準値		設計値	CASBEE		Cランク				
PAL※		470	368	0.79	LEED				
空調		600.11	300.15	0.51	ISO50001				
換気		66.00	45.00	0.69	その他				
照明		437.00	225.26	0.52	一次エネルギー削減率				
給湯		10.25	5.12	0.50	創エネ含まず		創エネ含む		
昇降機		20.11	15.45	0.77	50		52		
コージェネ発電量		0.00	0.00	-	%		%		
創エネ		0.00	-45.51	-					
その他		201.53	201.53	-					
合計		1335	747	0.56					
合計（創エネ含まず）		1335	792	0.60					
					ZEBランク				
					ZEB Ready				

2-5 ZEBリーディング・オーナー登録票(SII作成)
【ZEBリーディング・オーナー登録票(1/2)】

Z E Bへの取組み目標 (2030年中期計画)

ZEBの取組みは、地球環境を守り、地球にやさしい企業を理念としている我が社においては重要課題として位置付けている。一次エネルギー消費量を削減することは、地球温暖化の防止や、枯渇が懸念されている化石燃料の消費削減にもつながり、社会へ貢献できると考える。さらには、ZEB化の取組みは、企業コストの削減につながり、経営資源を光熱費から研究開発、新規事業への投資に向けられる効果を期待している。新設した本社ビルによって得たZEBのノウハウ、実績を今後全国の事業所に順次展開していく予定である。

導入実績・導入計画

	建築物の名称	区分	都道府県	新築/ 既存建築物	建物用途	延べ面積	階数	竣工年	一次エネルギー削減率		Z E Bランク
									創エネ含まず	創エネ含む	
1	株式会社カンキョウ共創イニシアチブ本社ビル	実績	東京都	新築	事務所等	12,300 m ²	11階	2019	50.0 %	52.0 %	ZEB Ready
2	株式会社カンキョウ共創イニシアチブ九州支店	実績	熊本県	新築	事務所等	5,400 m ²	5階	2019	59.0 %	70.0 %	ZEB Ready
3	株式会社カンキョウ共創イニシアチブ関西支店	計画	大阪府	既存建築物	事務所等	3,371 m ²	5階	2021	62.0 %	76.0 %	Nearly ZEB
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

3 関連情報

(ZEBリーディング・オーナー・マークについて)

3 関連情報

3 -1 ZEBリーディング・オーナー・マークについて

SIIでは、登録されたZEBリーディング・オーナーを対象として、ZEBリーディング・オーナー・マークの使用申込を受け付けています。

ZEBリーディング・オーナー・マークは、SIIに登録されたZEBリーディング・オーナーのみが使用できます。

ZEBリーディング・オーナー・マークの使用申込は、SIIホームページ上で随時受付しており、ダウンロードされたZEBリーディング・オーナー・マークには、ZEBリーディング・オーナーごとに付与されているZEBリーディング・オーナー登録番号が付番されます。

ZEBリーディング・オーナー・マークは、ZEBリーディング・オーナー登録番号を除いた使用はできません。

<ZEBリーディング・オーナー・マークのサンプル>



(1) ZEBリーディング・オーナー・マークの使用対象

本事業を含む平成29年度以降のZEB実証事業においてSIIに登録されたZEBリーディング・オーナーのみ使用することができます。

(2) ZEBリーディング・オーナー・マークの使用目的

ZEBリーディング・オーナー・マークは、SIIが登録・公表を行うZEBリーディング・オーナーがZEBの普及促進に係わる活動を行う際に使用することができます。

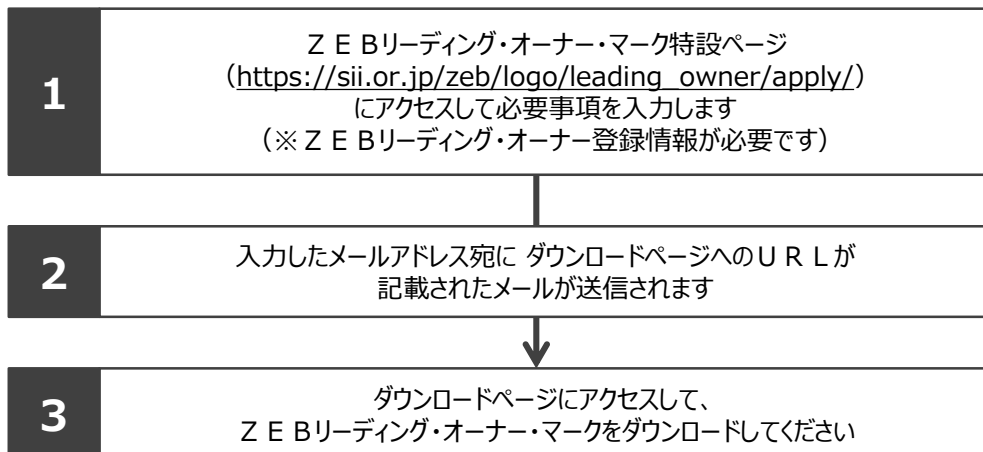
使用の際は、ダウンロードファイルに同梱される「ZEBリーディング・オーナー・マーク使用許諾規定」及び「ZEBリーディング・オーナー・マーク使用ガイドライン」を必ず確認してください。

■使用例 | 名刺、ホームページ、広告媒体への掲載、カタログやパンフレット類への掲載等。

(3) ZEBリーディング・オーナー・マーク使用申込～ダウンロードまでの流れ

ZEBリーディング・オーナー・マークの使用を希望するZEBリーディング・オーナーは、ZEBリーディング・オーナー・マーク特設ページにアクセスし、必要事項を入力の上、ZEBリーディング・オーナー・マークをダウンロードしてください。

Z E Bリーディング・オーナー・マーク ダウンロードの流れ



(4) ZEBリーディング・オーナー・マーク使用に関する注意

- ① ZEBリーディング・オーナー・マークの使用に際しては、ダウンロードファイルに同梱される「ZEBリーディング・オーナー・マーク使用許諾規定」及び「ZEBリーディング・オーナー・マーク使用ガイドライン」の内容を必ず確認し、これを遵守してください。
- ② ZEBリーディング・オーナー・マークの使用申込及びダウンロードは、ZEBリーディング・オーナー1社につき1回となります。
- ③ ZEBリーディング・オーナー登録申請を行った実務担当者が支店、グループ会社、フランチャイズ等のグループ網を代表して使用申込を行ってください。また、グループ網(支店、グループ会社、フランチャイズ等)でZEBリーディング・オーナー・マークを使用する際は、管理者を選定いただく等、取扱いには十分にご注意ください。
- ④ 規定に反するZEBリーディング・オーナー・マークの使用や、SIIが不適切と判断する利用状況が確認された場合は、ZEBリーディング・オーナー・マークの使用停止を通知することがあります。この場合、直ちにZEBリーディング・オーナー・マークを削除し、使用を停止してください。

